

製品名: TSG101 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82778**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	TSG101
別名	TSG10; VPS23
遺伝子 ID	7251.0
SwissProt ID	Q99816
免疫原	大腸菌で発現したヒト TSG101 (AA: 167-374) の精製された組み換え断片。

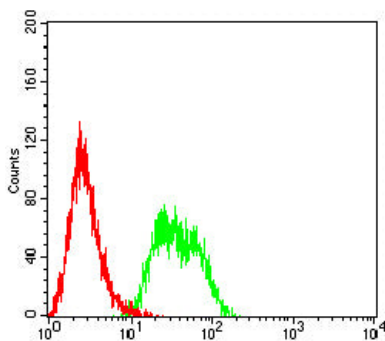
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ユビキチン結合酵素の一見不活性な相同タンパク質群に属する。この遺伝子産物は、腫瘍形成に関与する細胞質リン酸化タンパク質であるスタスミンと相互作用するコイルドコイルドメインを含む。このタンパク

質は細胞の増殖と分化に関与し、負の増殖制御因子として作用する可能性がある。この腫瘍感受性遺伝子の in vitro 定常発現は、ゲノム安定性の維持と細胞周期制御に重要であると考えられる。この遺伝子の変異および選択的スプライシングは乳がんにおいて高頻度に認められ、乳がんの腫瘍形成および / または進行過程において欠陥が生じることを示唆している。

研究分野

画像データ



TSG101 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。